

冬の風物詩「餅のカーテン」

市内の農家で干し餅づくり

寒さが最も厳しくなる1月下旬から2月上旬にかけて、市内の一部の農家では、昔ながらの「干し餅」づくりが行われました。干し餅は、かぼちゃやごまなど自然の素材で色とりどりに着色し、砂糖でほんのり甘く味付けして作ります。乾燥させるため、藁で編み縁側や軒下につるされた様子は、さながら「餅のカーテン」のようです。(写真は阿仁打管内の泉シキ子さん宅で)



広報 [No.70]

きたあきた

2/16

[1日.16日 月2回発行]

2008年